

## 「注意事項等情報」改訂のお知らせ

持続性 Ca 拮抗剤  
日本薬局方 アゼルニジピン錠  
処方箋医薬品  
**アゼルニジピン錠8mg[BMD]**  
**アゼルニジピン錠16mg[BMD]**  
**AZELNIDIPINE TABLETS**

2025年3月



この度、下記のとおり「注意事項等情報」を改訂いたしました。

今後のご使用に際しましては、改訂内容をご参照下さいますようお願い申し上げます。

記

### ■改訂内容

(~~~~~ : 削除箇所    \_\_\_\_ : 追記箇所)

改訂前	改訂後
<p>2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） 2.1～2.2（略） 2.3 イトラコナゾール、ミコナゾール（経口剤、注射剤）、フルコナゾール、ホスフルコナゾール、ポリコナゾール、ポサコナゾール、HIV プロテアーゼ阻害剤（リトナビル含有製剤、アタザナビル硫酸塩、ホスアンプレナビルカルシウム水和物、ダルナビル含有製剤）、コビススタット含有製剤、<u>抗ウイルス剤（ニルマトレルビル・リトナビル）、エンシトレルビル フマル酸を投与中の患者</u> [10.1、16.7.1 参照]</p>	<p>2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） 2.1～2.2（略） 2.3 イトラコナゾール、ミコナゾール（経口剤、注射剤、<u>口腔用剤</u>）、フルコナゾール、ホスフルコナゾール、ポリコナゾール、ポサコナゾール、HIV プロテアーゼ阻害剤（リトナビル含有製剤、アタザナビル硫酸塩、ホスアンプレナビルカルシウム水和物、ダルナビル含有製剤）、コビススタット含有製剤、ニルマトレルビル・リトナビル、<u>エンシトレルビル フマル酸を投与中の患者</u> [10.1、16.7.1 参照]</p>

改訂前			改訂後		
10. 相互作用 (略)			10. 相互作用 (略)		
10.1 併用禁忌 (併用しないこと)			10.1 併用禁忌 (併用しないこと)		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
以下のアゾール系抗真菌剤 イトラコナゾール (イトリゾール)、ミコナゾール (フロリード) (経口剤、注射剤)、フルコナゾール (ジフルカン)、ホスフルコナゾール (プロジフ)、ボリコナゾール (ブイフェンド)、ポサコナゾール (ノクサフィル) [2.3、16.7.1 参照]	(略)	(略)	以下のアゾール系抗真菌剤 イトラコナゾール (イトリゾール)、ミコナゾール (経口剤、注射剤、 <u>口腔用剤</u> ) (フロリード、 <u>オラビ</u> )、フルコナゾール (ジフルカン)、ホスフルコナゾール (プロジフ)、ボリコナゾール (ブイフェンド)、ポサコナゾール (ノクサフィル) [2.3、16.7.1 参照]	(略)	(略)
HIV プロテアーゼ阻害剤 リトナビル含有製剤 (ノービア、カレトラ)、アタザナビル硫酸塩 (レイアタッツ)、ホスアンプレナビルカルシウム水和物 (レクシヴァ)、ダルナビル含有製剤 (プリジスタ、プレジコビックス) コビススタット含有製剤 <u>スタリビルド</u> 、 <u>ゲンボイヤ</u> 、 <u>プレジコビックス</u> <u>抗ウイルス剤</u> ニルマトレルビル・リトナビル ( <u>パキロビッド</u> ) [2.3 参照]	本剤の作用が増強されるおそれがある。	これらの薬剤が CYP3A4 を阻害し、本剤のクリアランスが低下すると考えられる。	HIV プロテアーゼ阻害剤 リトナビル含有製剤 (ノービア、カレトラ)、アタザナビル硫酸塩 (レイアタッツ)、ホスアンプレナビルカルシウム水和物 (レクシヴァ)、ダルナビル含有製剤 (プリジスタ、 <u>プレジコビックス</u> 、 <u>シムツーザ</u> ) コビススタット含有製剤 ゲンボイヤ、 <u>プレジコビックス</u> 、 <u>シムツーザ</u> ニルマトレルビル・リトナビル パキロビッド エンシトレルビル フマル酸 ゾコーバ [2.3 参照]	本剤の作用が増強されるおそれがある。	これらの薬剤が CYP3A4 を阻害し、本剤のクリアランスが低下すると考えられる。
エンシトレルビル フマル酸 ( <u>ゾコーバ</u> ) [2.3 参照]					
(略)			(略)		

改訂前			改訂後		
10.2 併用注意（併用に注意すること）			10.2 併用注意（併用に注意すること）		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
(略)			(略)		
アゾール系抗真菌剤 （併用禁忌の薬剤を除く） ホスラブコナゾール等	(略)	(略)	アゾール系抗真菌剤 （併用禁忌の薬剤又はそれ以外の外用剤を除く） ホスラブコナゾール等	(略)	(略)
(略)			(略)		

#### ■改訂理由

相互作用相手薬との整合の調整のため

<p>■ DSU（医薬品安全対策情報）No. 334（2025年3月発行予定）</p> <p>■ 改訂後の電子添文につきましては、以下のホームページに掲載されますので、ご参照ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・株式会社バイオメディクス 医療関係者向けサイト (<a href="https://biomedix.co.jp/medical/">https://biomedix.co.jp/medical/</a>)</li> <li>・医薬品医療機器総合機構ホームページ (<a href="https://www.pmda.go.jp/">https://www.pmda.go.jp/</a>)</li> </ul> <p>■ 添付文書閲覧アプリ「添文ナビ」を使用して、以下のGS1コードを読み取ることで電子添文をご覧いただけます。</p> <div style="text-align: center;">  <p>(01)14987809160117</p> </div>
--